

○ 入学者選抜の方法

1. **実施時期**：入学年度の前年度の11月（第1回）及び1月（第2回）
なお、当該入学試験における入学者の状況により、別途、特別入学試験を実施する場合があるほか、10月入学分として当該年度の8月に入学試験を実施する場合がある。
2. **試験科目**：小論文（英文による課題に対し、要旨をまとめ、考察する）・口頭試問・面接
3. **試験内容**：
 - 1) 小論文：医療関連の課題英文を読み、要旨の解説と考察を日本語で述べ、その内容を評価する。
 - 2) 薬学研究科委員会構成員全員により、志望する専門分野を中心とする専門知識・研究能力並びに理解力等に関する口述試験・面接を行う。
6年制薬学部卒業（見込み）者及び修士課程修了（予定）者にあつては、卒業研究（論文）あるいは修士論文に関するプレゼンテーション並びに質疑応答、それ以外の者にあつては、これまでの研究内容及び業務経験等に関するプレゼンテーション並びに質疑応答、そのほか受験者の研究に対する抱負、モチベーション等を評価する。
1) 及び2) の項目について、総合的に評価し、研究科委員会において可否を決定する。

《点検・評価》

英文課題による小論文を課すことにより、研究に必須の英語論文の基礎的読解力の評価並びに医療に関して問題点の発見・解決能力にかかわる基礎力を評価すること、また口頭試問（口述試験）により、当該研究分野に対する専門知識のみならずプレゼンテーション能力、理解力、さらには研究に対するモチベーションや探究力等を含めて幅広く総合的かつ効果的に評価することが可能であり、前述の「アドミッションポリシー」に基づき、薬学を中心として、広く医療に貢献しうる人材を受け入れていくために有効かつ適切な選抜方法である。